

<No23：地図編集>

次の文は、地図編集の原則について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 編集の基となる地図（基図）は、新たに作成する地図（編集図）の縮尺より小さく、かつ最新のものを使用する。
2. 地物の取捨選択は、編集図の目的を考慮して行い、重要度の高い対象物を省略することのないうようにする。
3. 注記は、地図に描かれているものを分かりやすく示すため、その対象により文字の種類、書体、字列などに一定の規範を持たせる。
4. 有形線（河川、道路など）と無形線（等高線、境界など）とが近接し、どちらかを転位する場合は無形線を転位する。
5. 山間部の細かい屈曲のある等高線を総描するときは、地形の特徴を考慮する。